



ろくのへ 議会だより

第83号

平成27年1月16日発行

●編集/発行●
青森県六戸町議会

工事が進む誘致企業

ファーストプライウッド(株)
(木材加工会社・六戸町金矢工業団地)



12月
定例会

六戸町議会基本条例を可決 … 2P

一般質問

4名の議員が町政を問う …… 6P

六戸町議会報告会開催 …… 11P

町民の声 六戸中生徒の思い …… 12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

六戸町議会基本条例を全会一致で可決

詳しくは10ページをご覧ください。

第4回12月定例会は、12月5日から9日までの会期で開かれました。

本定例会では、平成26年度一般会計、特別会計補正予算、各条例改正議案など町長から提出された案件は、報告1件、議案18件、六戸町議会基本条例など2件の議員提出議案を審議し、すべての議案を可決・承認しました。

また、一般質問には、4名の議員が登壇し、理事者側の考えをいただきました。主な内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計など6件の補正予算は、原案のとおり可決しました。

●平成26年度六戸町一般会計補正予算(第3号)

補正理由は、衆議院の解散により、衆議院議員選挙の執行経費で、歳入歳出それぞれに832万円を計上しました。

●平成26年度六戸町一般会計補正予算(第4号)

今回の補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億1201万円を追加し、補正後の予算総額を52億4207万円とするものです。

主な補正
○若者定住支援事業 20万円
○定住促進新築住宅建設補助事業 1120万円

○住宅用太陽光発電システム導入支援事業 96万円

○保育所運営費 2802万円
○多面的機能支払交付金事業 454万円

○除雪関連費 2984万円
○大曲・開知小学校改修費 333万円

条例等

条例の改正などの議案12件を審査し、すべて原案のとおり可決しました。

●六戸町職員の給与に関する条例等の改正

青森県人事委員会の勧告を考慮し、改正するものです。

● 六戸町子どもの医療費の助成に関する条例の改正

子ども医療費の助成方法を、現物給付※に変更するものです。

● 六戸町乳幼児医療費給付条例の改正

乳幼児医療費給付の方法を、現物給付※に変更するものです。

※**現物給付**とは、お金ではなく直接医療サービスの給付を受けることをいいます。

今までは、病院を受診した際に一度お金を支払い、役場福祉課に医療費助成の申請をしていました。



これからは、福祉課に「受給資格証」の交付申請をし、病院、薬局等に受給資格証を提示すると、保険診療適用分の一部負担金の支払いがなくなります。

議案等審査結果

第4回12月定例会

【補正予算】

- 平成26年度六戸町一般会計補正予算(第3号) **原案可決=全会一致**
- 平成26年度六戸町一般会計補正予算(第4号) **原案可決=全会一致**
- 平成26年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) **原案可決=全会一致**
- 平成26年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第2号) **原案可決=全会一致**
- 平成26年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) **原案可決=全会一致**
- 平成26年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) **原案可決=全会一致**

【条例等】

- 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更について **原案可決=全会一致**
- 六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町災害対策本部条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町防災会議条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町民バス条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町国民健康保険事業基金条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**
- 六戸町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**

【人事】

- 六戸町教育委員会委員の任命について **原案同意=全会一致**

【議員発議】

- 六戸町議会基本条例 **原案可決=全会一致**
- 軽度外傷性脳損傷に関する周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書提出について **原案可決=全会一致**

人事

● 六戸町教育委員会委員

種市正孝氏（なかにょうたか）（下吉田字赤田）が平成26年度12月18日で任期満了することに伴い、同氏を再任命することに同意しました。

議員発議

2件の議員発議を可決しました。

● 六戸町議会基本条例

六戸町議会・議員の活動原則、議会運営の基本事項等を定めるため制定するものです。詳しくは10ページをご覧ください。

● 軽度外傷性脳損傷に関する周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書提出について

産業民生常任委員会へ付託され、委員会で審査した結果、採択とし、本定例会で全員一致で可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などへ意見書を提出しました。

平成26年度各会計補正予算（いずれも全会一致で可決しました）

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	51億2174万円	1億2033万円	52億4207万円
国民健康保険事業特別会計	13億4750万円	98万円	13億4848万円
下水道事業特別会計	2億9898万円	△850万円	2億9048万円
介護保険事業特別会計	13億1241万円	57万円	13億1298万円
後期高齢者医療特別会計	1億1034万円	4万円	1億1038万円

質疑

● 六戸町職員の給与に関する条例の改正について

青森県人事委員会の勧告に基づき、平成19年度以来の給与月額勤労手当等支給割合の引き上げの改正です。

これは、人材確保を目的に若年層を重点に置き、給料月額を平均0・3%引き上げるものです。

問 円子徳通議員

給与の引き上げに伴う総額はいくらか

答 下田総務課長

約600万円の増額になります。

問 円子徳通議員

六戸町の経済状況を踏まえるとアベノミクスの各種経済政策の恩恵は地方には行き届いておらず、特に当町の基幹産業である農業関係の収入も大きく落ち込んでいます。

このような中、民間と公務員の給与の是正を求め、これを前提とした人事院勧告の目

的を考えると、給与改正は厳しいものがあると捉えているが、町長の考えは

答 町長

実際の社会の情勢は楽観視できない状況にあると思います。

また、職員は地域を動かすエネルギーです。行政改革による大幅な人員減と業務の増加で、実際の職員状況は過去に比べアップアップの状態です。頑張っているのが現実です。

県も厳しい中であつての対応、町としても牽引力を強める職員になつていただきたいということと提案しました。

問 高坂茂議員

若者に手厚くとは、具体的にどこまでが若者で、どういった内容で改正されるのか

答 下田総務課長

主幹以下の若手職員は0・3%の引き上げ、主幹以上の職員は、据え置きです。

● 町民バス等の運行について

問 山本実議員

私の所にバス運行についての苦情が寄せられている。

そのなかに、運転手の言葉遣いが乱暴である、運転が荒い、さらに乗車し座席に座る前に発進し、危険な思いをした等がある。町に対して苦情はあるか

答 下田総務課長

具体的に町には苦情等はありません。

問 山本実議員

そのような話があるので、調べて早急な対応をしていたきたい。

先月、七百中学校校内において、下校時にスクールバスを利用する生徒と運転手との間でトラブルがあった。

問 町長

このことについて、教育委員会から報告があり承知していると思うが、どのような内容か

教育委員会から経緯の報告は受けており、その後の経過

も聞いている。相手が義務教育の子供であることにおいて、極めてそういう態度はよくないことで、しっかりとその後の対応、指導をするように話をしていきます。

問 山本実議員

町の指名業者としてふさわしくない業者を指名した結果がこのような状況を招いているのではないか。契約が途中でも解除しなければならぬ問題でないか

答 町長

この出来事は、今までにない大変な出来事ですが、離れた地域やお年寄り、高齢者には、町民バスは有効に機能してきたと心強く感じ取ってくれていると捉えているので、契約を解除するという意思はありません。

● 六戸町教育委員会委員の任命について

問 高坂茂議員

我々はこの提案理由の説明だけでは、人物像が全然わからない。略歴等資料の提出を求めたい

答 下田総務課長

本人の承諾を得る段階では、履歴書等の提出は求めています。プライバシーの侵害があると思うので、略歴等の提出はできないと考えます。

問 高坂茂議員

履歴書のコピーではなく、簡単な略歴です。どこでも出していると思うが、出せない規定があるのか。

例えば、選挙でも簡単な略歴は出します。プライバシーの問題にはならない。公的な場で、侵害にはならないと思う。前向きに検討していただきたい

答 町長

具体的に書類上でプロフィールの提出はしていません。改めてつくる予定はありません。



定例会において一部事務組合議会議員による報告がありました。

◆十和田地域広域事務組合

平成26年第2回議会定例会が、11月26日に開催しました。案件は、認定6件、議案14件で、全て原案のとおり可決しました。

同意第4号では、十和田地域広域事務組合教育委員会委員に新井田秀雄氏（六戸町）が再任されました。

また、議員提出議案第1号では、十和田地域広域事務組合議会規則の一部を改正する規則の制定について、六戸町議会と同様に一般質問を一括方式または一問一答方式のいずれかで行うものとした。

そして、当初予算及び決算認定に係る議案の審議については、質問の回数に制限を設けないことを可決しました。

なお、本会議に先立ち、議員全員協議会が開催され、26年4月4日に発生しました六戸消防署職員の不祥事について、消防長より謝罪がありました。

内容は、パチンコ店内にて他人の財布を盗んだものです。

被害者と示談が成立していることもあり、処分内容は3カ月の停職処分、今後においては綱紀粛正に努めますということでした。

そのなかで、2点質問がありました。

1点目は、先般、自衛隊職員が同様の不祥事を起こしたが、片や懲戒免職、こちらは3カ月の停職処分ということですが、何が違うかという質問があり、十和田地域広域事務組合の処分は、国の処分方法にのっとり処分したということでした。

自衛隊職員については、再犯であったため、厳しい処分にしたとのことでした。

2点目は、報道で六戸消防署に勤務する職員となっているが、十和田市採用か六戸町採用かという質問には、答えることはできませんということでした。

報告者 河野豊 議員
委員 川村重光
杉山茂夫
下田敏美

◆十和田地区環境整備事務組合

平成26年11月11日、平成26年第2回十和田地区環境整備事務組合定例会を開催しました。

提案された案件は、認定1件、議案2件であります。

認定第1号 平成26年度十和田地区環境整備事務組合一般会計歳入歳出決算の認定は、歳入決算額3億6504万円に対し、歳出決算額3億5080万円です。

議案第5号 平成26年度十和田地区環境整備事務組合一般会計補正予算（第1号）についてですが、この補正は、歳出において職員の人事異動に伴う給与費を追加し、歳入においては前年度から繰越金及び財政調整基金繰入金を追加したためのものです。

なお、監査委員からは、今後事業の現状と動向を的確に把握し、引き続き経費の節減、事務事業の合理化の徹底に努め、地域住民の快適で住みよい生活環境の保全に一層努力されることを望むものがあると、このような報告がありました。

報告者 山本実 議員

◆上北地方教育・福祉事務組合

平成26年11月7日、平成26年第2回の定例会（決算議会）を開催しました。また、7月に臨時会並びに全員協議会が開催されています。

提出議案は、平成25年度の一般会計歳入歳出決算と補正予算の2件で、質疑終了後に原案のとおり認定可決されました。25年度決算は、一般会計の決算歳入総額は10億2579万円で、歳出総額は10億158万円で、

7月15日に臨時会、全員協議会が開催されており、臨時会では一般会計の補正予算に関する案件1件で、全員異議なく可決されています。

全員協議会では、理事長より公立もみのき学園の施設整備について提案があり、当事務組合においても改善整備すべきとの結論を得ているとの報告がありました。

このことについて、協議会では、1月の予算議会において一般質問の中で、改築すべきとの指摘がされた経緯もあり、全会一致で改築作業に取りかかることについて了承しました。

次に、議員研修は、平成26年7月30日・31日の一泊二日で、函館市榎法華村高齢者福祉総合センターと函館市地域交流まちづくりセンターの2件について視察しました。

これまでは、行政視察は知的障害者施設が中心でしたが、今回の総合的な高齢者福祉総合センターは、とても立派なところでした。この函館市榎法華村は、多くの町村が合併したというところで、立派な施設ですけれども、市内から離れているということもあり、お金がかなりかかっているということでした。

しかし、コミュニティーを中心にした施設ということでも参考にようになりました。

それと、交流まちづくりセンターですが、指定管理のやり方、あり方を研究している事例ということで参考にようになりました。少し福祉とかけ離れていましたが、我々の勉強になりました。

報告者 高坂茂 議員



平成27年度予算編成

新年度予算新たな施策は

緊急度の高い施策があれば検討 — 町長



こうさか 高坂 しげる 茂 議員

一般質問

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。

問 平成27年度予算の新たな施策は

農 国・県の動向を見ながら、各課の予算要求において緊急度、重要度の高い施策があれば、財源とのバランスを考えて検討する。町単独での具体案は財政状況の中抑制している。

問 人口減・少子化対策の取り組みは

農 「子ども医療費助成」、「若者定住支援事業」、及び「定住促進新築住宅建設補助事業」を継続実施します。

問 太陽光パネル補助事業は

町長 平成26年度で終了となつているが、要望等あれば総合的に判断したい。

問 通学路の白線引き、歩道の除草、標識ポールの破損、マンホール蓋の段差解消などインフラ整備の状況は

町長 町としての計画はあるが、対応すべき箇所として捉えて、今後整備して進めるよう指示していきたい。

問 町民の健康増進のため、町の遊休地を利用してパークゴルフ場設置の考えは

町長 貴重なご意見として伺いながら、活用という部分について、多角的に検討したい。

問 町は、少子化・人口減対策として、「少子化対策課」を設ける考えはないか

町長 今のところ考えはない。町全体各

課に相通ずる極めて大きな課題です。各課も必死にやっていることをご理解願いたい。

問 子育て支援策として、例えば3人目のお子さん生まれたら、所得税（住民税）の減免制度などの優遇策を設ける考えは

町長 現在は、子供が何人だと非課税にするというふうには考えていません。

問 今年度のコメ価格下落に伴う稲作農家への支援策は

町長 町内の米価の減収分は2億いくらかという数値であり、私どもとして、何ができるか具体的に言えないが、考えていきたい。

旧十和田電鉄廃線の活用

旧七百駅舎跡地の考えは

お手伝いを模索・検討—町長

問 現在、七百レールファンクラブがボランティアで、この施設を文化財として保存しているところと活動しているが、町として支援する考えは

町長 やはり、十和田電鉄さんが主導をして、どのような形でこの歴史ある鉄道を後世に伝えていくか、また、取り組んでいくかが筋と考えている。その後、行政がどのように関わりを持つかを考える。

町長 今後、NPO等の民間団体等から、有効活用の動きが出てきたときは、行政として何をすべきか判断したい。

問 この廃線跡地を鉄道公園とする考えは



旧七百駅跡地

こんな質問もしました

女性管理職の登用

問 役場管理職に女性の積極的登用を、男女を問わず、職員の特性を十分に発揮し、活躍できるように職員の配置をしている



ほろたあきら
母良田 昭 議員

一問一答方式

農業問題

にんにくウィルスフリー種子 購入補助延長の考えは

26年度で事業を一時終了 — 町長

問 平成27年度に向
かって、農業の主
要施策は

町長 主要施策は、農
業生産基盤の一層
の充実を進めるために、
県営六戸地区集落基盤整
備事業を実施します。

また、担い手や新規就
農者の育成・確保を図る
ため、青年就農給付金事
業及び黒毛和種雌牛牛保
留事業を継続実施します。

平成26年度から「農地
中間管理機構」が設けら
れ、農地の有効利用と一
層の生産コスト削減を図
る事業が始まりました。

この事業の実施に当た
り、面積に応じて30万円
から70万円の経営転換協
力金等が受けられますの
で、平成27年度予算にお
いて実施したい。

また、農村景観の維持
や農地の防災機能と言っ
た農業農村の持つ多面的
機能の維持・発揮のため
地域内の農業者が共同で

取り組む農地や水路の草
刈り・泥上げ、農道の砂
利敷き等の維持管理活動
に支援する「多面的機能
支払交付金事業」も始ま
っており、すでに7団体
が組織を設立し、事業を
実施しています。

来年度に向けて実施団
体が増加するよう周知を
図りながら、多面的機能
支払交付金事業の施策の
実施に努めます。

問 にんにくウィル
スフリー種子購入
補助の延長する考えはな
いか

町長 「イモグサレセ
ンチュウ」被害を
防止するため、平成24年
度から3年間の時限事業
として、優良種子の購入
費用への助成を行いまし
た。

この事業を延べ351
人の生産者が利用され、
18万8千38球の種子を更
新した結果、大玉で高品

質なにんにくが生産され
ています。事業の効果と
いう観点では、十分なも
のであると認識している。
従って、平成26年度で
事業を一時終了し、今後
品質の低下などが発生し
必要と認められるときに
は再度、対応したい。

問 トラクター等、
農業機械への助成
の考えは

町長 近隣の自治体で
は、担い手農業者
の生産性向上及び経営安
定を目的として、農業用
機械、農業生産設備やパ
イプハウスの購入費に対
して補助している。

当町としては、意欲あ
る担い手、新規就農者の
育成・確保等につながる
ものかどうかを見極めな
がら、農業振興上必要と
認められる場合は、今後
検討したい。

通学路の安全確保 七百中学校から岡沼線 の県道に歩道の設置を 青森県に要望したい — 町長

問 七百中学校から
岡沼線の県道に歩
道設置の要望をしては

町長 青森県に対しま
して、舗装道路の
維持補修や道路視距改良
等に合わせて、歩行者等
の利用状況を調査し、歩
道の設置も要望したいと
考えています。

問 七百から金矢
(権現沢農道)へ
の街路灯の設置及び管理
の考えは

町長 この農道は、七
百中学校(金矢地
区11名)の生徒が通学路
として利用しており、街
路灯もなく非常に暗い路
線であると認識していま

す。
街路灯を設置するには、
電柱等が必要になります
が、この路線には皆無で
あるため莫大な経費がか
かることが予想されます。
各方面の補助事業等を模
索し、今後検討したい。

問 町道沖山・岡沼
線への防雪柵の設
置する考えは

町長 町内には吹きだ
まりの箇所がこの
路線を含めて数ヶ所あり
その都度できる範囲内で
対応していますが、防雪
柵の設置についても、相
当な経費を要するため各
方面の補助事業等を模索
し、今後検討したい。



かわむら しげみつ
川村 重光 議員

農業問題

米価の下落に対して町の支援策は

現在の所、町単独の支援策は考えていない — 町長

問 米価の大幅な下落に対し、町の支援策があるか

町長 現在、収入を補てんする保険的制度への加入などが考えられる。今後において農業者の営農意欲を維持し、米の生産確保につながる施策を検討する必要があると考える。

問 来年の農家の生産意欲を高めるためにも、主食用米生産にあたって種もみに助成金を出してはどうか

町長 種もみへの助成については、今後の検討課題としたい。

問 経営所得安定対策交付金の早期支払いの状況は

町長 経営所得安定対策交付金の「米の直接支払交付金」は、11月28日に生産農家へ交付しており、飼料用米等の戦略作物助成金やにんにく、牛蒡等の産地交付金に係る「水田活用の直接

支払交付金」は12月12日に交付予定です。

問 六戸町地域農業再生協議会の来季の実施方針は

町長 六戸町地域再生協議会の次年度実施方針は、平成26年度の米価が大幅に下落したことを受け、来年度は飼料用の作付と収入を補てんする保険的制度への加入推進に努めます。

問 飼料用米の作付を増す考えだが、販売、流通、保管等の対応は大丈夫か

農業委員 もみによる出荷は難しいが、玄米による出荷だと保管場所等の心配は予想されない。

問 地域間調整金で購入した機械等の財産管理の現状と使用者の範囲は

農業委員 地域間調整金は、地域農業再生協議会の会計で管

理している。今まで全転作者へ還元したこともあるが、現在は機械等の購入をしている、認定方針作成者の方針参加農業者がおいらせ農業協同組合の組合員となることから、おいらせ農協へ機械等は付与している。

問 地域間調整金は、一団体のみの扱いだとすれば、協議会の会計区分に入れなくてもいいのでは

町長 他の市町村では、協議会の会計に入っていないところもある。ただ、町全体の事業だから六戸町協議会ではこのように判断している。

問 六戸米は主に業務用米として流通している。ブランド米としての展開策が必要では

町長 六戸町全体でブランドとしての評価を高めることは難しい。個別に展開して行くことも必要だと思う。

道路問題

未整備・未舗装な生活道路があるが対策は

計画的に整備をしている — 町長

問 幹線道路から住宅地へ進入道路（法定外道路など）の点検・整備については

町長 点検・整備は、担当課でパトロールを実施し、整備が必要な箇所等があれば、住宅地の路地等の法定外道路についても計画的に整備をしている。

問 防災や高齢者対策では、各課の連携が必要と思うが、緊急車両の進入困難な道路があるか

町長 六戸町では、緊急車両が対応できない道路はない。

問 要望に対しての改修、計画は

町長 今までにおいて、町内会や地域からの要望があれば調査の上、優先順位を決めて計画的に整備を実施している。今後もこれまで同様、広く町内会や地域から要望を聞きながら道路の整備を進めたい。



未舗装道路



すぎやま しげお
杉山 茂夫 議員

ふるさと納税と六戸ブランド特産品の開発

今後、PRとブランド推進に努めたい — 町長

問

昨年12月定例会の一般質問で、町ホームページの「ふるさと納税」による特典の掲載と、宣伝の仕方などを検討する旨の回答を頂いたが、特典について掲載するお考えはあるか

町長

「ふるさと納税」 当町では、現在として、概ね1万円以上の寄付をされた方に対し、感謝の気持ちとして、町の特産品の宣伝を兼ねて「農産品詰め合わせ」をお送りしている。

特典を町ホームページに掲載して宣伝するかにしては、政府がこの制度を拡充する方針であることも考慮し、平成27年度より実施する方向で検討している。



農産品詰め合わせ

問

東京六戸会の会合等で「ふるさと納税」の理解と呼びかけをすべきではないか

町長

「ろくのへブランド推進」について、私自身、毎年度開催される東京六戸会の総会においてPRしているのですが、今後とも継続して呼びかけたい。

問

「ろくのへブランド推進」について、これまでの経過と事業の内容は

町長

「ろくのへブランド推進事業」は、長芋・にんにく・シヤモロック等の生産資源の産品のブランド化の推進、販売宣伝の強化及び新たな加工品の開発・流通販

問

弘前城改修の一口城主のように、六戸ブランド事業や特産品開発に活用する目的と明示し、ふるさと納税を活かせないか

町長

ふるさとで一生懸命頑張って活動している人々と、ふるさと納税で貢献する人のコラボが理想です。

問

ろくのへブランド推進事業を図るにあたり、NPO法人の組織化と今後の事業の見通しは

町長

現在、ブランド推進事業準備委員会、ブランド化に向けて、一生懸命話し合いをしている。

このことは、農業・商業の連携が始まり、人づくりという要素も含めて

動き出している状況です。将来的には、観光協会内のイベント部門と並ぶ「ブランド推進部門」というような位置づけを想定している。NPO法人の組織化については、その活動の中で気運が高まれば町として支援したい。

問

特産品の開発を進めるため、町特産の野菜等を使った「わが家の漬物」・「わたしのスイーツ」等のコンクールや料理レシピの募集など町ホームページを活用する考えは

町長

ブランド推進事業準備委員会において、来年度の事業計画の中で料理コンテストの開催を協議しているのので、実施された場合には、町ホームページを活用し募集、案内をしたい。

町民に開かれた議会をめざして

12月議会定例会において、「六戸町議会基本条例」が提案され、全会一致で可決し、本年1月1日から施行されました。

議会基本条例とは、議会の基本理念や議員及び議会運営に関する基本的な事項を定めたものであり、町民の代表としてより信頼される議会と議員個々の意識改革、資質の向上を図り、これまで以上に町民の皆さんに開かれた身近な議会を目指すためのものです。

本条例の策定にあたっては、まず、一連の議会改革の検討から始まり、これまで3年近くにわたり議員で構成する専門の検討委員会を設け協議・検討を重ねてまいりました。

本条例は、延べ15回にわたり協議し、専門講師の指導も仰ぎながら、このたびの制定に至りました。

制定条文の内容では、議会報告会の開催や一般質問での一問一答方式の採用など、すでに運用されているものもありますが、この条例の施行を機に、新たな議会改革のスタートといたします。



専門講師を迎えての研修会

六戸町議会基本条例

(前文より抜粋)

議会は「町民憲章」のもと、「恵みの大地と人が結び合う、やすらぎと感動の定住拠点・六戸」の実現に向け、水と緑の優れた自然や特色ある農業をはじめとする本町の特性・資源を最大限に生かして、人と人、町民と行政が協働して「暮らす場所」としての質の向上を目指し、活力と交流あふれるまちづくりと町民の幸せを願い、ここに最高規範となる条例を制定する。

※条文については、ホームページをご覧ください。

◆条例のポイント

町民参加

町民・町各団体との議会報告会・意見交換会を通じ、町民の声を町の政策へ反映させます。

開かれた議会

議会広報の充実や各委員会等の公開を含め、議会の活動がみえるよう情報の公開に努めます。

活発な討議

一般質問は、より深い議論にするため原則一問一答方式とし、また、町長等は反問することが出来る活発な討議を目指します。



六戸町の良さに気づく

僕は今年の夏休みに姉に会うため、一人で沖縄に行ってきた。エメラルドに輝く海や中国の影響を受けた独自の文化は魅力的だった。

飛行機を乗り継いで行くと沖縄と同様に六戸町も日本の端に位置していることを実感した。

でも、故郷を遠く離れることで、この町の良さにも気づくことができた。奥入瀬川と緑豊かな大地。八戸市、十和田市、三沢市に囲まれた有利な地理的条件。近隣市町村の中で最も立派な運動公園があり、夏は僕の好きなサッカーをする環境が整っている事などだ。

しかし、ただ一つ残念な点がある。それは冬に運動公園が使えないことだ。時々、ドームがあれば冬でも思いっきりサッカーができるのになあと思う。そうなれば僕だけでなく、多くの六戸町民にとって厳しく長い冬を、今よりもっとポジティブに過ごせるし、この町に生まれ育ったことに誇りが持てるのではないかと思う。五戸や上北につくれて、六戸に作れないこともないと思っている。



六戸中学校 3年

せき かわ てつ や
関川 哲 弥 さん

企業誘致や雇用の場を期待



六戸中学校 3年

き むら
木村 まみ さん

私には将来の夢がある。それは看護師になることだ。そして、いつかは六戸町に戻ってきて働きたいと思っている。それから、できるものなら大人になっても小学生の時から続けてきたソフトボールに関わり続けたい。

先日、社会科の授業で六戸町の財政について勉強した。2012年の財政力指数は県内40市町村中13位だったが、財政比較分析表を見たところ、財政力指数で六戸町よりも上位にいる市町村にも負けない、県内でもトップを争えるほど健全な町であることが分かった。

しかし、最近、自分や町の将来について考えた時、女性を始めとした働く場が少ないのではないかと思うようになった。六戸町はスポーツや文化などの施設は充実していると思う。しかし、職場が少ないため、十和田市や三沢市に通勤している人が多いと聞く。

六戸町で暮らす全ての人々が今よりもっと生き生きとした生活がおくれるように、企業誘致や多くの雇用を確保できる取り組み等を期待している。

編集 後記



明けましておめでとうございませう。昨年は災害の多い年でしたが、今年こそ良き年であってほしいものです。

光陰矢の如しと申しますが、私達議会広報委員の任期も残すところ、あと四カ月となりました。

今回の発行で十五回目となります。いつも町民が見やすい広報を目指して、全委員で検討改良を進めて参りましたが、少しでも満足していただけたでしょうか。今後ともご理解あるご愛読をよろしく願います。

下田 敏 美

議会広報委員会

委員長 河野 豊
副委員長 杉山 茂夫
委員 川村 重光
下田 敏美
高坂 敏美
附田 輝雄

発行責任者

議長 苦米地 繁雄